

獣医学研究科 獣医学専攻（博士課程）

研究指導教員の決定と研究指導の方法

（1）研究指導教員の役割

- 1) 研究指導教員は、学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、学生の同意を得た上で研究課題を決定し、研究指導を行う。
- 2) 研究指導教員は、研究指導とともに、授業科目の履修相談及び学位論文に関する指導を行う。
- 3) 研究指導教員は、学生ごとに定める。主指導教員は1名、副指導教員は1名以上とする。

（2）研究指導教員の決定プロセス

- 1) 学生は、事前に希望する教員への研究室訪問や面談等を経た上で、大学院入試の出願時に、指導を希望する教員を申し出る。
- 2) 入試時の面談及び学生が作成した研究計画書をもとに、研究科教授会において研究指導教員を決定する。
- 3) 原則、入学までに主指導教員を決定する。
- 4) 獣医科学特別演習1（1年次5月、ただし時期は目安とする）を経て、副指導教員を決定する。副指導教員は、本研究科または他大学や他研究科に所属する教員、あるいはそれと同等の能力を有する研究者とする。

（3）研究指導の方法

本研究科における研究指導計画は、以下の1)～7)のとおりである。研究指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、この研究指導計画を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

- 1) 研究計画の立案（1年次4月～6月、ただし時期は目安とする）
 - ① 学生は、研究課題に関して先行研究の整理、仮説の設定等を行い、研究指導教員とともに研究計画を立案する。
 - ② 研究指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、適切な指導及び助言を行う。
 - ③ 主指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生と副指導教員に明示する。

- ④ 学生と研究指導教員は、協議のうえ研究指導計画書を作成し、研究科長へ提出する。
- 2) 研究の遂行
- ① 学生は、研究計画に従って研究を遂行する。1年次には、主に研究方法の確立、予備実験、調査などを行い、研究課題に取り組む。2年次以降には、1年次に引き続き研究課題に取り組む、データの収集・解析等を行い、研究結果をまとめる。
- ② 研究指導教員は、研究の進行を確認しつつ、実験・調査等の手技の指導やデータの解析の指導を行い、研究結果をまとめさせる。
- ③ 主指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、毎年度の初め、研究指導計画を学生と副指導教員に明示する。
- 3) 研究経過の中間報告（3年次前期の適当な時期）
- 学生は獣医科学特別演習2で研究経過の中間報告を行う。
- 4) 論文投稿および学会発表（随時）
- ① 学生は、研究成果について国際学術誌への論文投稿や学会での発表を行う。
- ② 研究指導教員は、投稿論文のまとめ方、学会発表の方法等について指導する。
- 5) 博士論文の作成（4年次10月以降）
- ① 学生は、これまでの研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、研究指導教員のもとで博士論文をまとめる。
- ② 研究指導教員は、博士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。
- 6) 博士論文の提出・発表（4年次12月中旬～2月）
- 学生は9月から11月に開催される博士論文の一次審査（獣医科学特別演習3）に合格した後、指定された期日までに博士論文を提出し、主査1名、副査2名以上を決定し、公開の発表会で論文の内容を発表し、最終試験を受ける。
- 7) 研究指導報告書の提出（4年次2月）
- 研究指導教員は、研究指導報告書を作成し、研究科長に提出する。
- ただし、秋入学の学生に対しても、春入学の学生に準じた日程で研究指導を行うものとする。